

だれにも当てはまる日常のできごとを

人間味のある、あるがままの目でユーモラスに綴る

CL diary #46

むーらん



chiaf

2月7日（金）

仕事場の机の引き出しに入っていた箱の整理をした。ペンやメモ用紙などいろいろなものが入っている。私はものを放り込むばかりで、整理なんてほんとうに久しぶり。すると、あれ、これは？無くしたと思っていた服のボタンだ！まさか、こんなところに入っているなんて…。掃除や整理するとやはりいいことがあるみたい。

2月26日（水）

1階にある金庫の中は、課ごとにロッカーが割り当てられていて、中のものを取り出したら、マグネットでできたサインを「貸出中」にし、戻したら裏返して「返却済」にする決まりになっている。今日の夕方、私の課のロッカーのサインが「貸出中」になっているから金庫が閉められないと、担当者から電話があった。すみません！と言って、あわてて確認に行ったのだが、今日は金庫に入ってもいないし、まったく心当たりがない。それでもすみませんと言わないといけないのか複雑な気持ち。言わなくてもいいのかもしれないけれど、その事実に対して私の決めた行動だった。

3月11日（火）

朝、駅から職場まで歩いていると、後ろから追い越してきた高校生のかばんがぶつかり、謝ってくれないの！とすこしイラッとした。でもその直後、知人が私に「おはようございます！」と笑顔であいさつしてくださった。とても気持ちがよくて、いつのまにか、さっきイラッとした気持ちはどこかへ行ってしまったみたい。

3月16日（日）

一所懸命組み立てたねこ用のケージ。「やっとできた！」と思ったらねじが余っている？なんで？説明書を見直してみると、ねじを6個締めないといけないところを4個にってしまったようだ。当然ねじは余る…。せっかく作ったのに、観察不足でやりなおし…。

3月21日（金）

今日は京都まで出かけた。タクシーに乗ったら、運転手さんとペットの話になった。私がねこ暮らししていることを話すと、運転手さん「じゃあ、今日もおうちにいらっしゃるんですね」と…。ねこに敬語はいらないのだけれど、お客さまに対してのいつもの習慣だから、そんな話し方になってしまうのかな。ほんとうに丁寧な運転手さん。


3月23日（日）

うちの古いお墓は山の中にある。母がお墓まで車で行ってほしいと言う。「お彼岸やから参っとかなあかんし」でも私はあまり気がすまない。お墓までは舗装もされていない道で、雨でぬかるんでいるだろうし。それに熊がでたらどうするの！だけどいつまでもほおっておくわけにもいかないし…。それで今日、やっとお参りをして、そうじをしたらすっきり。「ほんまに気になってたんや。落ち葉に埋もれてるんやないかと思って」と母。よほど気になっていたのだなあ。

3月25日（火）

職場の窓口で、定期的にこられる業者の方がいる。対応をしてくださっていたTさんが「今日はあの方スーツでしたね。何かあったのでしょうか」そう言われてみれば、確かに、今まで何度も来られているが、スーツを着てこられたことはなかったなあ、とあらためて思う。Tさんの観察はすごい！

（滋賀県滋賀郡CLインストラクター）

 [目次へ戻る](#)